

平成23年 5月24日提供	
資料提供	
担当課	観光振興課
担当者	坪井、原田
電話	内線 2777

平成23年度

主要観光地におけるゴールデンウィークの観光客入込状況について

県内の主要観光地(7か所)におけるゴールデンウィーク(4/29~5/8の10日間)の観光入込客は、宿泊客198,400人(対前年比4.5%減)、日帰客630,100人(対前年比6.4%減)で、全体としては828,500人(対前年比6.0%減)となった。

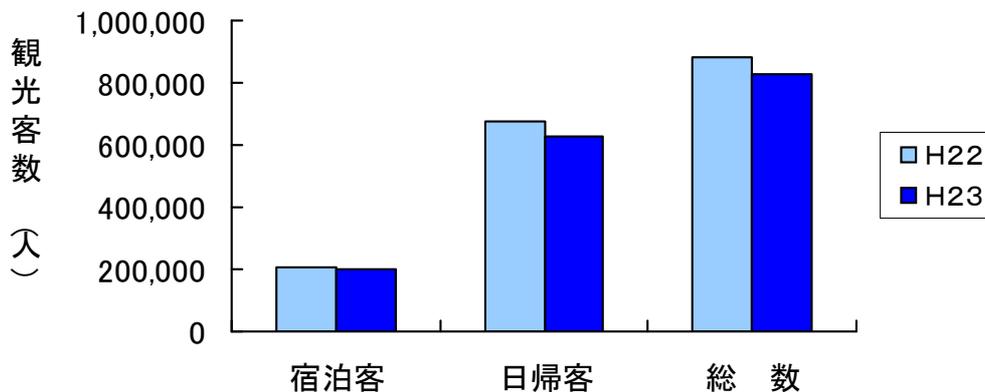
昨年度に比べ、調査期間が1日少なかったために、宿泊客・日帰客とも減少した。

なお、入込数の一日平均では、東北地方太平洋沖地震の影響で観光客が大きく減少すると思われたが、一部の観光地を除き、宿泊客・日帰客ともに増加し、天候に恵まれなかった地域もあったが、高野山や熊野本宮大社への参拝客が堅調で熊野古道のウォーキングや、白浜のパンダ目当ての観光客も多く見られた。

(単位:人)

	平成22年	平成23年	増減	対前年比
	11日間	10日間		
	(4/29~5/9)	(4/29~5/8)		
宿泊客	207,800	198,400	▲ 9,400	95.5%
日帰客	673,400	630,100	▲ 43,300	93.6%
総数	881,200	828,500	▲ 52,700	94.0%

主要観光地におけるGWの観光客入込状況



各主要観光地の状況

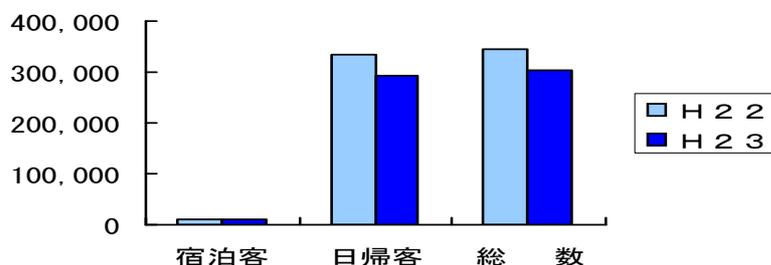
■和歌山市

宿泊客は9,100人(対前年比1.1%減)、日帰客は292,700人(対前年比12.7%減)で、全体としては301,800人(対前年比12.4%減)であった。

例年に比べて春から気温の傾向が低く推移したことにより、毎年この頃に咲く花々が10日前後遅れたため、養翠園・四季の郷公園の入込客が半減したことや、和歌山市で、もっとも入込数が多い和歌山マリーナシティの観光客の減少により、日帰客が昨年を大きく割り込む結果となった。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	9,200	9,100	▲ 100	98.9%
日帰客	335,300	292,700	▲ 42,600	87.3%
総数	344,500	301,800	▲ 42,700	87.6%



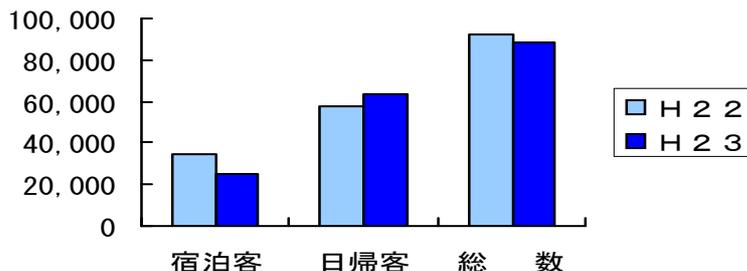
■高野町

宿泊客は24,600人(対前年比29.5%減)、日帰客は63,700人(対前年比10.4%増)となり、全体としては88,300人(対前年比4.6%減)であった。

毎年5月3日～5日の3日間に金剛峯寺壇上伽藍にて開催される「春の結縁灌頂」については、参拝客が基本となっていることから、全体的には大きな変動がなかったが、震災や福島原子力発電所事故の影響により、関東以北からの参拝客が減ったことや、外国人観光客の減少等により宿泊客は大幅に減少した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	34,900	24,600	▲ 10,300	70.5%
日帰客	57,700	63,700	▲ 6,000	110.4%
総数	92,600	88,300	▲ 4,300	95.4%



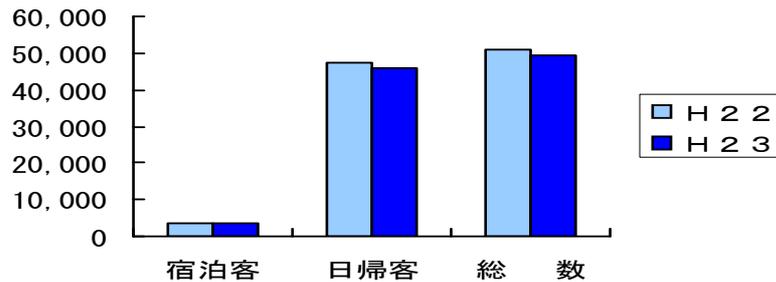
■田辺市龍神村

宿泊客が3,800人(対前年比5.6%増)、日帰客は45,700人(対前年比3.2%減)となり、全体として49,500人(対前年比2.6%減)であった。

調査期間が1日少なかったために日帰客は減少したが、ゴールデンウィーク後半の天候が悪かったにもかかわらず、ツーリングや温泉目当ての利用により宿泊客が増加、また一日平均数では日帰客も増加した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	3,600	3,800	200	105.6%
日帰客	47,200	45,700	▲ 1,500	96.8%
総数	50,800	49,500	▲ 1,300	97.4%



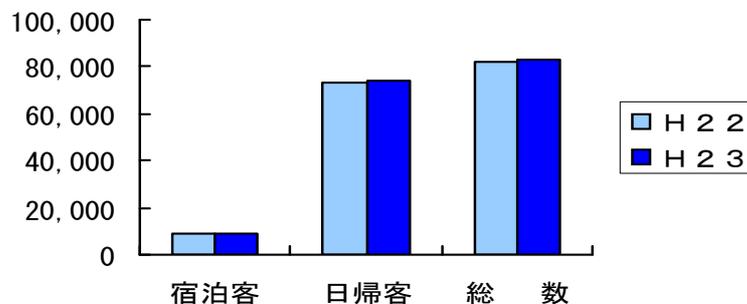
■田辺市本宮町

宿泊客は8,900人(対前年比増減なし)、日帰客は74,400人(対前年比1.4%増)となり、全体として83,300人(対前年比1.2%増)であった。

ゴールデンウィーク中に平日が絡みキャンプ客は減少したが、熊野本宮大社の参拝者や熊野古道のウォーキング客が多みられ、宿泊客・日帰客とも増加した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	8,900	8,900	0	100.0%
日帰客	73,400	74,400	1,000	101.4%
総数	82,300	83,300	1,000	101.2%



■白浜町(旧日置川町を除く。)

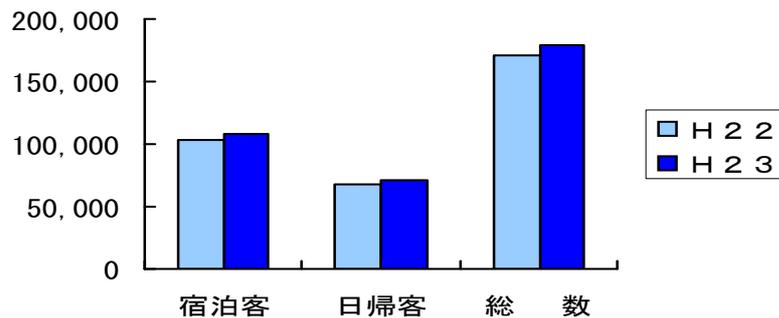
宿泊客は108,000人(対前年比5.4%増)、日帰客は71,000人(対前年比4.7%増)となり、全体として179,000人(対前年比5.1%増)であった。

ゴールデンウィーク期間中に平日がはさまり、前半、中盤と観光客が分かれ、観光客の入込に波があった。

5月3日の海水浴場開きは、気温が低かったため、昨年よりも70%減の人出となったが、パンダ人気もあり観光施設の入込が増加するなど、宿泊客・日帰客とも増加した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	102,500	108,000	5,500	105.4%
日帰客	67,800	71,000	3,200	104.7%
総数	170,300	179,000	8,700	105.1%



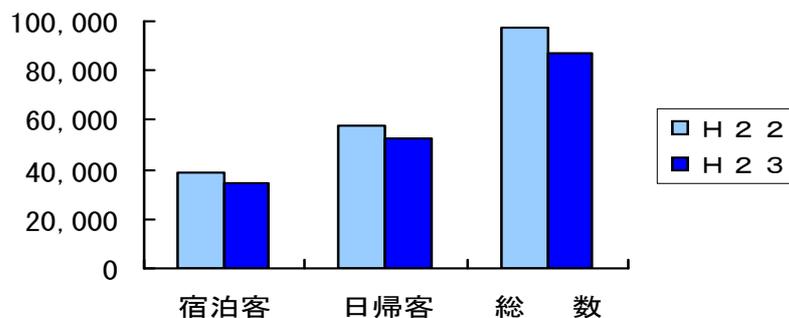
■那智勝浦町

宿泊客は34,500人(対前年比11.5%減)、日帰客は52,500人(対前年比9.5%減)となり、全体として87,000人(対前年比10.3%減)であった。

紀伊勝浦駅周辺や那智山では、熊野古道ブームが影響していると思われ、山歩きの格好をした観光客の姿が多くみられたが、東日本大震災の津波などの理由により宿泊客・日帰客とも減少した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	39,000	34,500	▲ 4,500	88.5%
日帰客	58,000	52,500	▲ 5,500	90.5%
総数	97,000	87,000	▲ 10,000	89.7%



■ 串本町(旧古座町を除く。)

宿泊客は9,500人(対前年比2.1%減)、日帰客は30,100人(対前年比11.5%減)となり、全体として39,600人(対前年比9.4%減)であった。

ゴールデンウィーク前半は天気も悪く、キャンプ利用者が伸び悩むとともに震災の影響もあり、日帰客は減少した。

宿泊客については、調査期間が1日少なかったために減少したが、一日平均では昨年より増加した。

(単位:人)

	H22	H23	増減	対前年比
宿泊客	9,700	9,500	▲ 200	97.9%
日帰客	34,000	30,100	▲ 3,900	88.5%
総数	43,700	39,600	▲ 4,100	90.6%

